

『あたたかい言葉』

ちょっとしたあたたかいエピソードを募集します

ちょっとしたあいさつや、言葉がけによる人と人とのあたたかいつながりやふれあいのエピソードを募集いたします。“何気ない言葉かもしれないけれど、あの言葉で元気をもらった” “「ありがとう」の一言であったかい気持ちになった”など、みなさんの素敵なエピソードを紹介させていただき、『あたたかい言葉』がけのある地域・家庭づくりをめざし、相手の気持ちを考え思いやりの心にあふれる、心豊かな町づくりをすすめたいと思います。

募集内容

「あたたかい言葉」にまつわるちょっとしたエピソード 100字～200字程度のお話

応募方法

各小中学校、各地区の地区推進員に提出してください。

原稿には、住所、氏名、年齢、性別、電話番号をご記入してください。匿名希望の方はその旨お書きください。

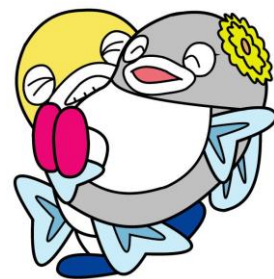
提出期限

令和6年9月2日（月）まで

その他

○応募いただいた原稿は、青少年育成大会冊子・広報等に掲載する場合がございます（応募者の同意を得て、原稿を若干変更させていただく場合がございます。）

○11月に優秀作品を選んで、3月の町民会議にて表彰します。



「あたたかい言葉」作品例

○ わたしは、いままでおてがみや、おりがみを友だちにわたすことしかかんがえていませんでした。でも、その友だちはわたしのまわりの人までしあわせにしようとしてすごいとおもいました。わたしは、とてもうれしくなってしあわせなきもちでいっぱいになりました。（小学生女子）

○ ぼくは、1, 2ねんげこうのひはおねえさんや2ねんせいの人ととかえってきます。いえまでおねえさんがいっしょなので、たのしくてあんしんなのです。でも1, 3ねんげこうのひ、ぼくはとちゅうからひとりになります。3ねんせいのおにいさんが、「ぼくがいえまでおくってあげる。」といていつもいえまでおくってくれます。とてもあんしんしてまいにちがっこうからかえっていきます。（小学生男子）

○ 私がもらったあたたかい言葉は、祖母からもらった「一人でもそうやって喜んでくれる人がおると、うれしいね。」です。私は、祖母が作っているすいかが大好きです。おやつはだいたいですいかです。すいかにかじりついている私を見て祖母は、「今年は、うまくできんかったけど、一人でもそうやって喜んでくれる人がおるとうれしいねえ。」とにこにこしながら言っていて、私はとてもあたたかい気持ちになったし、ありがたいなと思いました。（中学生女子）

○ 「お母さん、何かすることある？」「私、何か手伝うよ。」と忙しそうにしている私（母）を見て、声を掛けてくれる一言とってもうれしかったです。（保護者）

